

令和元年度学校目標

1年間の目標	取組の内容	
	具体的な方策	評価の観点
<p>1 教育課程・学習指導</p> <p>①・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各教科及び他教科間での研究授業や研修会等授業改善を積極的に実施するとともに内容の充実を図る。 ・新校開校に向けた教育課程、教務基準を検討する。</p> <p>②水産各分野における地域との連携による研究活動、実習等を通して、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①・教科等横断的な学習の充実に取組み、生徒の主体的・対話的な授業を通した「深い学び」の実現に向けた科目や教科、さらに他教科との横断的な授業展開方法を研究する。 ・学科改編に向けたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取組む。 ・新校の体制を想定して、教務基準の検討を開始する。現行の教務基準の中で、変更すべき点について確認する。</p> <p>②地域や産業界と連携した実践的・体験的な学習活動を積極的に推し進め、生徒が成果を発表・共有・周知することで学び合いの活性化を図る。</p>	<p>①・生徒の授業評価において「授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして、わかろうとする努力をしている。」の最も高い評価が40%以上となったか。 ・カリキュラムマネジメントや教務基準の検討について新校準備委員会と連携できたか。 ・現行の教務基準の中で変更すべき点について学校全体で共有することができたか。</p> <p>②地域や産業界と連携した課題研究や水産クラブの取組みによる成果の発表をする機会が増えたか。</p>
<p>2 生徒指導・支援</p> <p>①部活動加入率の増加に向けた具体的な方策を確実に実施するとともに外部人材を活用した活性化への取組みを推進する。</p> <p>②・支援が必要な生徒へのきめ細かい指導と教育相談体制を充実、発展させるとともに、情報共有を徹底させるためのケース会議を確実に機能させる。 ・外部機関との連携を充実させる。</p>	<p>①生徒会を中心に昨年に行ったアンケート等を検証し、部活動加入の増加のための活動を行う。</p> <p>②SC、SSW、養護教諭、教育相談コーディネーターの連携を密にし、生徒に対するあらゆる指導の機会を捉え、問題点を把握し、支援に当たる。</p>	<p>①前年度と比べて部活動加入の生徒数が増えたか。また、大会などの参加が活発になったか。</p> <p>②必要に応じ関係各所との連携を行い生徒の支援が行えたか。また、生徒の問題点を把握し、必要な支援を行えたか。</p>
<p>3 進路指導・支援</p> <p>①年次進行による進学、就職に向けたキャリア意識を高めるためのきめ細かい指導等を確実に実施する。</p> <p>②全ての専門系列においてインターンシップの参加率を向上させ、生徒の適切な勤労観、職業観を育成する。</p>	<p>①LHRを活用し、1、2年次生徒へのインターンシップやオープンキャンパスへの参加を強く促す等、ガイダンスを充実させる。</p> <p>②専門系列のインターンシップ担当者に、年度の早いうちに計画の作成を依頼する。また、水産デュアルシステム実施を視野に入れた受け入れ先を開拓する。</p>	<p>①1、2年次生徒へのガイダンスを充実させ、インターンシップやオープンキャンパスへの参加者が増加したか。</p> <p>②専門系列によるインターンシップ企画数と参加人数の増減、新規受け入れ先開拓数。</p>
<p>4 地域等との協働</p> <p>①・海洋学習センター機能の充実・発展を図り、出前授業や施設見学の受入れ等を積極的に実施するとともに、本校の教育資源を活用した取組みを推進する。 ・学校ホームページを充実させ本校教育活動を積極的に発信する。</p> <p>②地域との協働を推進させるため、産・官・学の連携事業を充実、発展させ、地域から信頼され、必要とされる学校づくりを推進する。</p>	<p>①・海洋学習センター機能として初声中学校等、地域の学校や団体との連携事業を多くの教職員の協力を得て行い、本校の教育資源の活用を進める。 ・現行ホームページをスムーズにコンテンツ管理システムに移行し、各グループの意見を取り入れたものとする。</p> <p>②三浦真珠プロジェクトやキャベツウニの取組み、缶詰製作など本校ならではの取組みを運営し、活動について積極的に発信する。</p>	<p>①・海洋学習センター機能として初声中学校等、地域の学校や団体との連携事業を多くの教職員の協力を得て行い、本校の教育資源の活用を進める。 ・各グループ、系列および部活動などのページの更新数など。</p> <p>②各取組みの実施状況及び参加した教職員、生徒の実数など。</p>
<p>5 学校管理・学校運営</p> <p>①コミュニティスクールの提言を受け進路指導、広報活動等の教育活動を推進する。</p> <p>②すべての教職員が新校開校に向けたさまざまな課題解決に取り組む。</p>	<p>①コミュニティスクールの導入にあたり、教職員への理解を深める。</p> <p>②新校準備ワーキンググループや教育課程連絡協議会などを積極的に開催し課題解決に取り組む。</p>	<p>①教職員のコミュニティスクールに対する理解を深めることができたか。</p> <p>②課題を明確化し解決に近づけたか。</p>